

調査視察等の報告書	
年 月 日	
日進市議会議長 永野雅則 様	
議員氏名 大橋ゆうすけ 印	
実施年月日 28年 8月8日～8月9日 (1泊2日)	行き先 福岡県福岡市 福岡県久留米市
目 的 「産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の内容と 取り組みについて調査を行うため。	
報告事項 ※報告事項については、別紙参照	
※別添資料 有	

調査視察地等の報告事項

福岡市の創業支援の概要

「創業しやすい環境づくり（創業気運の醸成）」を行うため「長期インターンシップ」等の事業を実施しており、対象者を市民、学生、創業者と幅広く設定している。また、スタートアップカフェをはじめとした「創業検討期」、インキュベート事業をはじめとした「立ち上げ期」、そしてグローバルスタートアップ推進事業をはじめとした「成長期」と段階を分け、それぞれの段階において様々な事業を展開し、きっかけ作りから、創業者の定着までをフォローしている。

久留米市の創業支援概要

「中心市街地への店舗改装費補助」「女性の起業支援セミナー」「創業塾」「街なか起業家支援」「バイオ専用インキュベーション事業」「ビジネスインキュベーション事業」等、様々な事業を展開している。また、同時に事業の経過状況の把握及び検証により、「専門相談員の配置不足」また「経験のある職員がいない」等の課題が見えてきている状況でもある。

平成 28 年からは創業支援施設「くるめ創業ロケット」をスタートしており、創業しやすい環境づくりを中心市街地に整備するとともに、街中の空き店舗活用と活性化を目指している。

所感

どちらの自治体も行政が積極的に地域、金融、学校、産業等との連携を図る努力をされています。また、全ての事業が成功しているわけではありませんが、事業実施に合わせて検証や計画の見直しも行うと同時に、新しい事にも挑戦しながら事業推進をされています。こうした姿勢から、創業支援について「本気」で取り組まれている事を改めて感じました。

本市においても「創業支援事業計画」を策定し連携市町等と事業推進を始められましたが、日進市単独での事業でないためのデメリット（事業実施や検証等のスピード感がない）が目立って見えます。今後、執行部の言われるスケールメリットが目立つような事業展開に期待をしたいところです。

自身も創業支援を受け（当時、日進市では行っていなかったため、愛知県名古屋市で創業支援を受ける）株式会社の設立し経営を勉強している最中でありますので、その経験も含め考えてみると、今後、重点を置く必要である支援としては、「創業前のマーケティング調査」「創業後のフォローアップ」であると感じています。

創業支援と創業後支援を行うことにより税収拡大と同時に雇用拡大、定住化促進等々にも繋がる可能性を秘めているため、一日でも早く「本気」で取り組む必要があると強く感じています。

政務活動事業実績報告書の概要及び成果等

福岡市の創業支援の概要

「創業しやすい環境づくり（創業気運の醸成）」を行うため「長期インターンシップ」等の事業を実施しており、対象者を市民、学生、創業者と幅広く設定している。また、スタートアップカフェをはじめとした「創業検討期」、インキュベート事業をはじめとした「立ち上げ期」、そしてグローバルスタートアップ推進事業をはじめとした「成長期」と段階を分け、それぞれの段階において様々な事業を展開し、きっかけ作りから、創業者の定着までをフォローしている。

久留米市の創業支援概要

「中心市街地への店舗改装費補助」「女性の起業支援セミナー」「創業塾」「街なか起業家支援」「バイオ専用インキュベーション事業」「ビジネスインキュベーション事業」等、様々な事業を展開している。また、同時に事業の経過状況の把握及び検証により、「専門相談員の配置不足」また「経験のある職員がいない」等の課題が見えてきている状況でもある。

平成 28 年からは創業支援施設「くるめ創業ロケット」をスタートしており、創業しやすい環境づくりを中心市街地に整備するとともに、街中の空き店舗活用と活性化を目指している。

所感

どちらの自治体も行政が積極的に地域、金融、学校、産業等との連携を図る努力をされています。また、全ての事業が成功しているわけではありませんが、事業実施に合わせて検証や計画の見直しも行うと同時に、新しい事にも挑戦しながら事業推進をされています。こうした姿勢から、創業支援について「本気」で取り組まれている事を改めて感じました。

本市においても「創業支援事業計画」を策定し連携市町等と事業推進を始められましたが、日進市単独での事業でないためのデメリット（事業実施や検証等のスピード感がない）が目立って見えます。今後、執行部の言われるスケールメリットが目立つような事業展開に期待をしたいところです。

自身も創業支援を受け（当時、日進市では行っていなかったため、愛知県名古屋市で創業支援を受ける）株式会社の設立し経営を勉強している最中でありますので、その経験も含め考えてみると、今後、重点を置く必要である支援としては、「創業前のマーケティング調査」「創業後のフォローアップ」であると感じています。

創業支援と創業後支援を行うことにより税収拡大と同時に雇用拡大、定住化促進等々にも繋がる可能性を秘めているため、一日でも早く「本気」で取り組む必要があると強く感じています。